

研究課題番号	5-2102
研究課題名	オゾン生成機構の再評価と地域特性に基づくオキシダント制御に向けた科学的基礎の提案
研究実施期間	2021年度～2023年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	梶井克純

1. 委員の指摘及び提言概要

実験、観測、モデルにより、科学的に研究を進め、オゾン生成の反応経路について学術的成果が蓄積され、「直接測定により HOx ラジカルの反応性を評価してオゾン生成機構を精緻化する」という目標は達成した。未知反応過程が明らかになり、NOx 律速領域でエアロゾルによってオゾン生成の低減が見られたなど新しい知見が得られ、基礎研究としての成果が上がっている。さらに、ポータブルレジーム判定装置を活用してオゾン生成の地域特性を評価し、最終的には地域別の対策につなげるという点で環境行政への貢献が期待できる。今後、レジーム判定装置をどのように地域に普及し、地域によって異なるであろう実大気質の条件下において、オキシダント制御に対してどのような具体的に施策へ繋げるのかについての明確化が期待される。

2. 採点結果

評価ランク：A